

# 確認プリント解答【中学校2年生】資料の活用

① イ

② (1) オ (2) ウ

③ ウ

④ (1)  $\frac{3}{8}$  (2)  $\frac{1}{4}$

⑤ (1)  $\frac{1}{36}$  (2)  $\frac{5}{36}$

⑥ (1) イ (2)  $\frac{3}{5}$

⑦  $\frac{2}{13}$

⑧ (1)  $\frac{1}{12}$

(2)  
(解答例)

全校の回答用紙90枚をくじにする場合は全部で90通りの出方があり、Fが選ばれるときは、場合の数が27通りなので確率はである。また、1年生の回答用紙50枚だけをくじにする場合は全部で50通りの出方があり、Fが選ばれるときは、場合の数が20通りなので確率はである。2つの場合の確率を比べると、よりの方が大きい。よって、全校の回答用紙90枚をくじにする場合よりも1年生の回答用紙50枚だけをくじにする場合の方がFが選ばれやすい。

埼玉県学力・学習状況調査

